

No.10
1968.7.16

教育大文学部 斗争委員会 宣伝局発行

18日学長日交要水行動に起こと

登校された全員の身の上の学友諸君！
我方の要求侵徹の斗争に対し、康ワタ奶奶がひ
され、我方の斗争の切り崩しをはかっている。
我方はこれらに対し、断乎として撃沈していく
ことを再度確認じよう。

▲学長、学生との不協同交拒否の宣言♪▼

昨日、康ム取扱いにて三輪学長名による斗争
に対する非諦と打教評議会に対する行動に對

しての中傷にみられた文書がけり出され、その最
后には大衆団々に視りに配じるに當ば基かれこ
れ、我方は、このあらゆる形を自らの意志を
あくまで貫徹させ、評議会内部に一定に主張に
動搖を引き継ぎてこそうと一層強度のあらわれ
てあり、我方は断じこれを認めることがでさ
り、打教評議会不協同交の実現の困難には、國
大駄の二不社のひとり三輪の兩くじらの他の犯
焉にあ、たとはいえ、我方は駄の態度が發行を
あればあるほど、我方のストライキ更に強固に
するここと区勢、にはすだ。学友諸君、打教評議会
国交実現のため、再度我方のストライキを強化し
まう、夏休みに入、に今、大學当局は斗争の、
自然消滅、迄少しつ程度に出できこり、我方の一
方を再度、打教評議会国交実現に向けて、行動を
起こうと、我方の前に評議会を引きづり出そく
こけるいか！

▲トドモ、時日何時か？▼

昨日は、北洋研究室所にてトドモのメンバーが集め
られこじろとの輸送が入り、我方はにじうに情
報を確認すべく行動を起こしにば、それと感づ
てし彼ら口ゆき逃亡した、敵は我方の斗争の前
回を差しつつ、自らの目的を果こんだめ、即ち
車庫ハテツを、手可写しよりに、22日の被弾詔衣
メ田に轟石に打上三回に合ひすじり、元にもの
想いの暴動遂にす等勢を、我方は昨日の彼うの
行動には、さりとみこれるだらう、我方のス
トライキを甚づしく想いつつも、自らの意向實
さうの動きに常に注意すと、同時に、彼うを三
輪が云う「底のオリーの中に引きざり込もう」
▲クラスから強制的夏休み休制の確立を！▼

さじき注生、東洋史、日本史、社会、法政
管理のクラスでは、22日までの臨時体制と、
夏季休みをいかにクラス体制を確立する中か

うのトドモリ、の日に面接を斗争を要に争う
する決意が表明されたりが、我方曰全
カクラスを夏休みに向けこの陣地戦体制を
確立すると共に、22日までの休憩域に於
この休制を打ち立てる。そして、斗
争委員会に全てのクラスが結束するやうに
斗争文書を再度高く掲げる！

▲連絡授会の速に強制！▼

毎日予定されていては連絡授会は、我方の
評議会国交実現の斗争にと、この強制的連
絡意味をも、こじて。即ち、教務委員会に連
絡を乞うと、この幹部の研修会を実現にす
るために、としに調査に計上「決定」する
連絡回をさせこじく斗争としこあ、に已あ
しかしそがう、ラ斗争委のこの間の対直
り斗りに恐怖して彼うは、學部長、評議会
を先頭に学生を賣すをもが、我方の不衆に
む国交要水行動に對して、破廉恥にも顧み
かう一人残らず罪を消すといの拳に狀に付
である。我方は、このよる連絡授会の構
定方針をあくまで固執してこじく高齢勢に用
かり一人残らず罪を消すといの拳に狀に付
して、はつきりと抗議の意をもてて、この
斗争を更に強化することによる。こ、ニ
さうの高齢勢を断乎としてこつき崩さう！

▲本日、打教就取委員会に結集せよ！▼

我方の長期スト決定と是に始む、に当
の就取問題を手段として攻せり、12日文
部長との国交の確約点へ我方の条件にそ
にかじらで再商に努力する」と文事ム長、
技術的には可能であるといふ見解にもかか
わらず、文事ムの全面解散と就取委のE管
入館といふ条件での文教授会決定として
にも内部からかけられる衆動に對して、西
部封鎖、E館封鎖の意義を再度確認しつ
本日の文教授会国交に結集し、我方の要

● 職員自治会ヒを早急に納入せよ、
● 《アミューズ》 会
9:30 (集前)
10:00 学内館(本館)
文学部 教授会(国交)
(～3:00)
3:00～ 街頭アーバン
5:00 斗争委員会(G406)
19:00 斗争委員会総会
～21:00